

Yちゃんが道を渡ろうとしている

音楽室の

Yちゃんの真新しい椅子の後ろに

Yちゃんの埃を被った椅子

その後ろに

Yちゃんの足が折れた椅子

その後ろに

ばらばらになった

Yちゃんの椅子

その向こうは

床が崩れて

そこへ

夕陽が落ちようとしている

ゆっくりと菱形に振れながら

錆び朽ちた軋み声をあげている

その窓枠の隙間から

はつなつの

Yちゃんのお腿が見える

その太腿が

草叢の中で立ち枯れた頃

Yちゃんの子孫ら あるいは

生まれなかったわたしたちが

ようやく幾度目かの死を語り始めようとする

音楽室の

Yちゃんの足が折れた椅子

その後ろの

Yちゃんのばらばらになった椅子

その向こう

夕陽に追われて

Yちゃんが道を渡ろうとしている

hotel no14 2005/12 初出